

## レガシーシステム刷新ソリューション「マイグレーション2.0」

# ソフトウェア資産棚卸サービス

マイグレーションの導入部で推奨されるソフトウェア資産の棚卸の必要性！

マイグレーションを推進する際、ソフトウェア資産の棚卸しにより有効資産を正しく把握できれば、検討範囲を有効資産の範囲に絞って、無駄な検討コストを排除するとともに、システム構成の特性を把握することが可能になります。

長い年月の中でレガシーシステムには……………

新機能の追加に伴い使われなくなっている機能  
業務の変更などで使われなくなっている機能が  
残存している…

初期のシステムの設計ドキュメントが存在しない  
残っている仕様書に追加・修正履歴が反映され  
ていない…

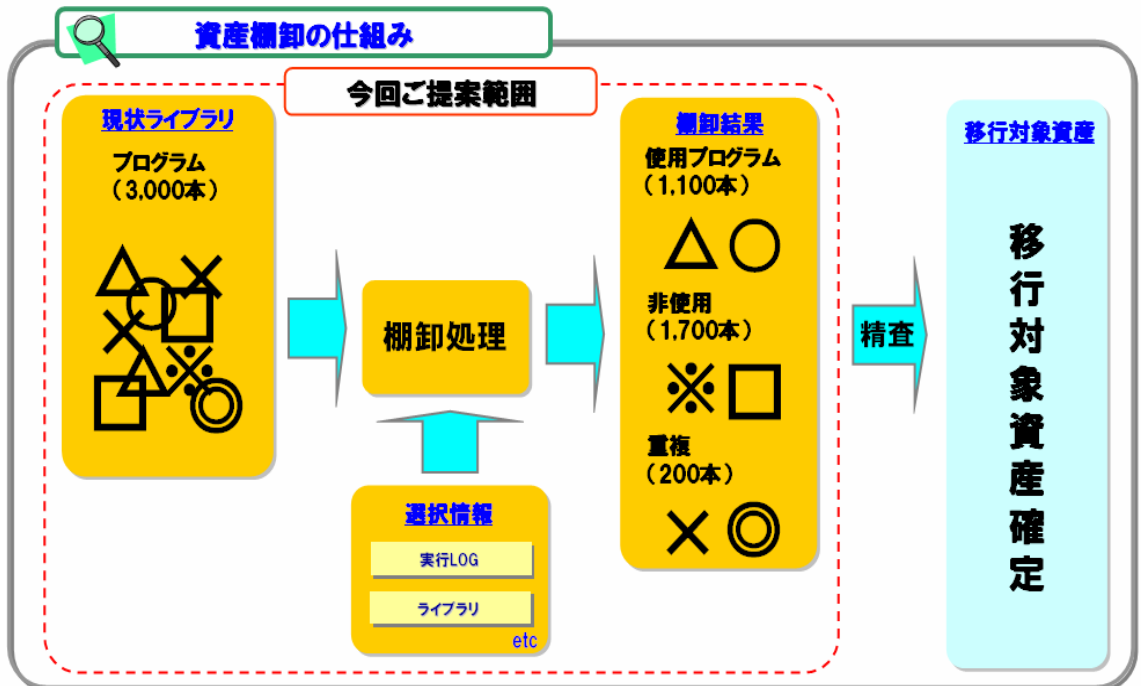
レガシーシステムの刷新を考えようにも……………  
「そのシステムの正確な規模を、ほとんど把握できていない」

錯綜している現状レガシーシステムの中から有効資産を正しく把握するには  
「ソフトウェア資産棚卸し」からスタートする必要があります。

## レガシーシステム内のソフトウェア棚卸処理方法

### 棚卸処理方法

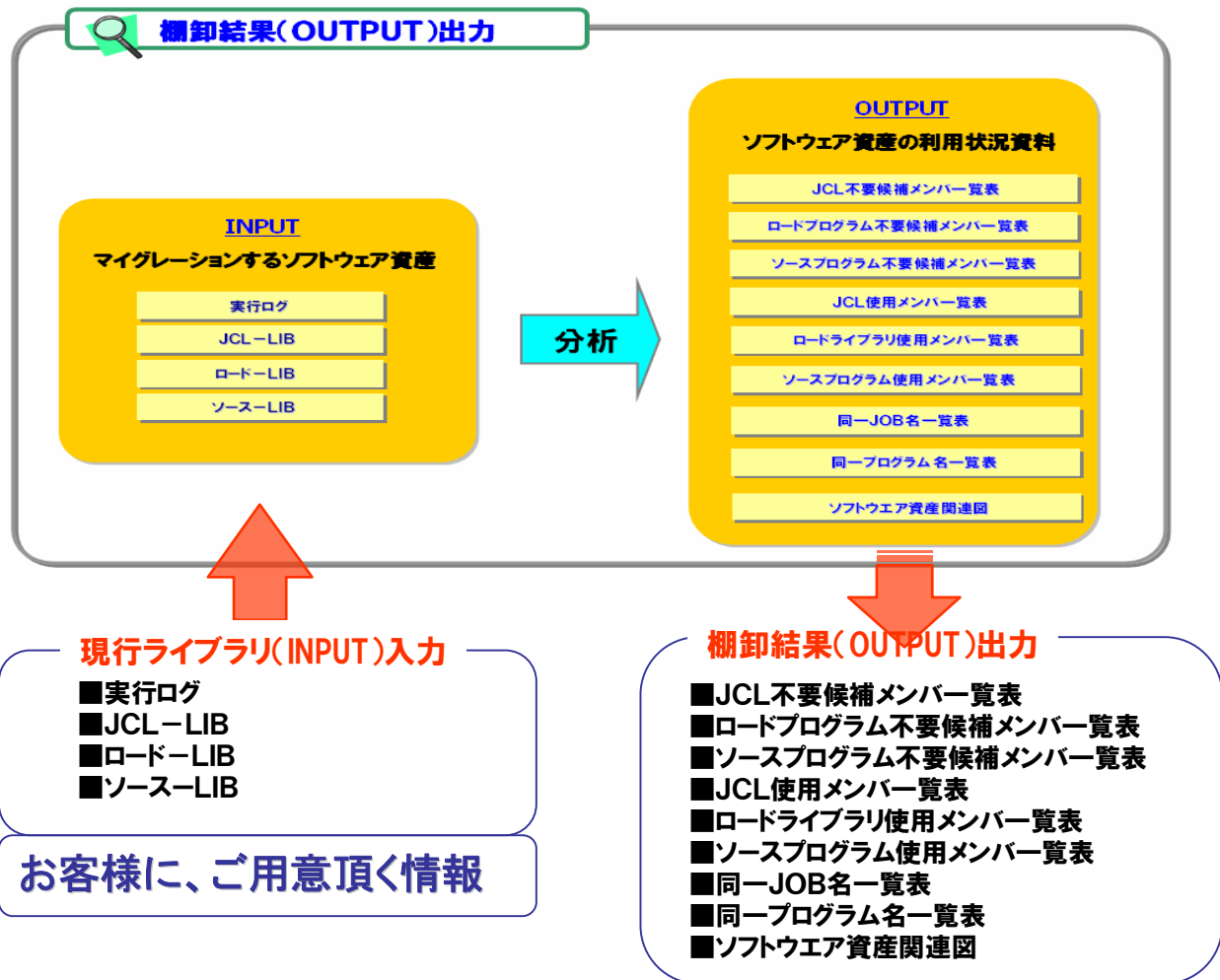
- ・実行LOGを基に稼働JOBを選択
- ・JCL-LIBを基に対象稼働プログラムを選択
- ・ロード-LIBを基に対象モジュールを選択
- ・ソース-LIBを基に対象ソースを選択



■レガシーシステム内にあるソフトウェアの全体像の把握を行います。  
・必要なソフトウェアと不要なソフトウェア資産、利用頻度低いもの、さらに重複登録されているものを整理し、今後の計画立案に必要な情報を取得。

## 棚卸結果(OUTPUT)出力

現行ライブラリ(INPUT)を基に棚卸結果(OUTPUT)を出力します。現行ソフトウェア資産の可視化により再開発・マイグレーション等の対象ソフトウェアを決定することが可能となります。



情報システム部門様が、システムの再開発やマイグレーション等の方針決定の為に、  
現行のソフトウェア資産を確認できるよう棚卸(分析)結果をご提出いたします。

## 参考価格

(前提条件: JCL+COBOL)

項目 規模	PGM本数 (JCL等を含む)	概算費用 (単位: 万円)	期間 (Week)
A	1~2000	200	~6
B	2001~5000	400	~8
C	5001~	400~	8~

注1) 棚卸しにかかる費用は、個々のレガシーシステム状況により異なります。

注2) 上記参考価格は、概算による参考資料です。ご注文時には個々のお見積となります。

システムズでは、マイグレーションにおける**経験・ノウハウ**を活かし**移行対象資産確定**のご支援をいたします。

お問い合わせ先 **株式会社システムズ** マーケティング事業本部

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-24-5 日本生命西五反田ビル8F

TEL 03-3493-0032 (ダイヤルイン) e-mail: migration@systems-inc.co.jp

